

大塚四丁目障害者施設敷地活用の方向性について

1 経緯

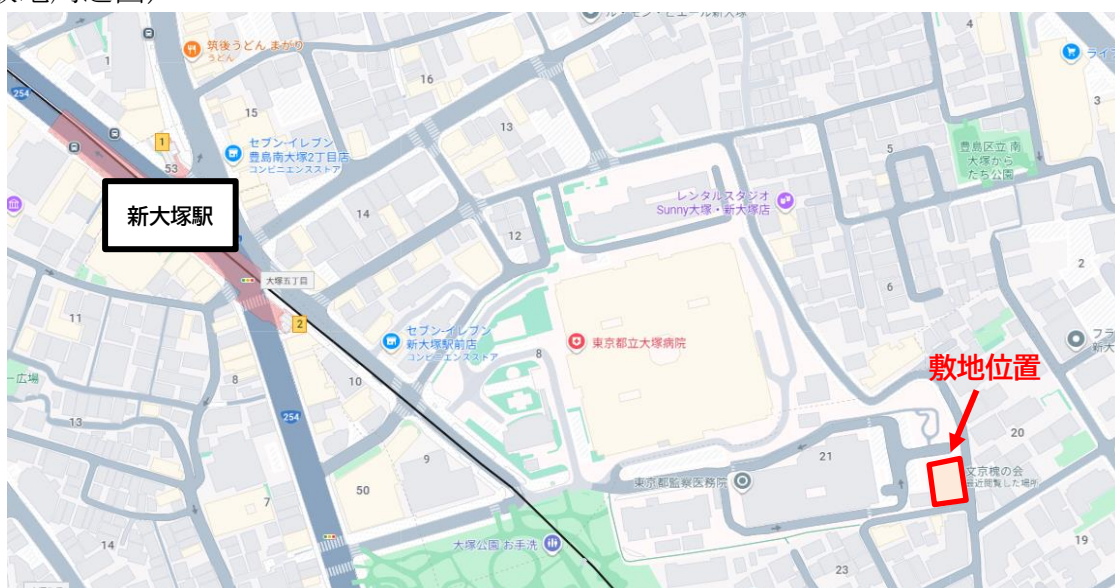
現在、社会福祉法人文京槐の会が運営する大塚四丁目障害者施設は、令和9年度に旧アカデミー向丘跡地に移転を予定しており、本施設の移転後の跡地については、新たな障害者施設の整備に加え、子ども・福祉関連施設等の併設について検討してきたところである。

本地の建物については、建築から30年以上が経過し、老朽化が進行していることから、解体の上、行政需要や区民ニーズを踏まえた活用の検討が必要となっている。

2 敷地の概要

所在地	文京区大塚四丁目21番8号
敷地面積	379.21 m ²
建ぺい率	80%
容積率	160%
用途地域	第一種中高層住居専用地域

(敷地周辺図)



出典：Google（Google マップに加筆）

3 活用の方向性

障害者施設の整備については利用者からの要望が多く、障害者・児計画においても、障害者のグループホームや短期入所施設の早期整備が課題となっている。

また、病児・病後児保育施設については、子育て支援計画において、施設のない地域を中心に新規開設に向けた検討を進めることとなっている。

このことから、本地においては障害者のグループホーム及び短期入所施設に加え、病児・病後児保育施設の設置に向けた検討を進める。

4 その他

今後、地域や関係団体等との調整を行い、本地の活用内容について決定する。